

# 国際ロータリー第2660地区ローターアクト

## 世界RACDAY

地区ローターアクト

代表 **森本 秀樹**  
 (大阪南RAC)

去る3月15日（日）、大阪市立天王寺区民センターにて、『世界RACDAY』が開催されました。

1968年3月13日に世界で初めて、アメリカのノースカロライナ州にあるノースシャーロット大学にローターアクトクラブが創設されました。これを記念して、3月13日を含む1週間を世界ローターアクト週間として全世界で地区単位・クラブ単位で活動を行っています。

第2660地区ローターアクトでは、この3月13日に近い日曜日を世界RACDAYと名付け、毎年地区行事を行っています。

今年度は大阪御堂筋ローターアクトクラブのホストの下、「RACとは？」というテーマで行われました。

まず、大阪御堂筋ロータリークラブの岩津陽介様より卓話を賜りました。岩津様はローターアクトに在籍・卒業をされておられ、活動のご経験をお伺いしました。お話は、ローターアクト会員証の必需性や定款に反しない限り細則は必要や便利であると

考えられることなら修正できること等大変勉強になるもので、RACについて再考する機会となりました。参加したローターアクトは自分の活動と照らし合わせながら、岩津様の経験談に聞き入っていました。

その後RAC検定が行われました。いくつかのチームに分かれ、“ローターアクト必携”の勉強をした後、各チームが作成したクイズにより得点を競い合いました。各チームからは特色ある問題が出題され、ローターアクトについて再度認識を深める良い機会になったと思います。ローターアクト結成には何が必要なのかや活動に利用できる支援源について等今まで意識できていなかったポイントもあり、改めてローターアクト必携の大切さを実感しました。

今回の行事では、普段の活動内容を客観的に見つめ直す事ができました。新たな気付きも数多くありました。今期も残りわずかとなりましたが、ここでの学びを来期以降の活動にも生かしてまいります。

